

---

# 生きてました

カツオ

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

生きてました

### 【Zコード】

Z0954A

### 【作者名】

カツオ

### 【あらすじ】

桜田さんがゲーセンで豚の鼻の熊を取つたらその人形たちが生きてました。

## 人形との出会い

「皆さん、人形には心があります！」

くそ古いテレビに詐欺してそうなおじさんが言ってた。  
オレはこんなことねーなと思って、テレビを消した。

ほら人形つて髪が伸びる日本人形とかあるじゃん。だから心があるんだって！

はい。信じてません。信じる氣にもなりません。

ある日、ちと金使おうかと思つてゲーセンのUF0キヤツチヤーをやりました。

しかも人形がきもい！豚の鼻をした熊です。

なんか取りたくなかつたけどほとんど高校生に占拠されて使えませんでした。

最近の高校生は怖いよ。普通に人をリンチするから。

それでアーム（取るのアームつて言うの）を操作してたらなんかそれジャンプしてましたうわあ怖いよ。

そいつアームに掴めたら泣いて万歳して落ちました。

なんかもう一度見たくなつたのでもう一回100円を入れました。

はい。ジャンプします。掴めました。たくさん豚の鼻をした熊が掴んでます。ゾンビみたいです。

あわせて29体とれました。いりません。売つたら50円でした。

いや半額やん。ゲーセンも50円にしろよ。

なんか利益あるのか分からないので全部持つて帰りました。置き場に困りました。どうしましよう。

全部押入に入れときました。

次の日、押入がすぐ揺れてます。ビビリました。

押入、壊れました。

オレが押入の方に来てみたら、豚の鼻をした熊、29体が立てました。

「やつと出れたあー！29体もあんな狭い押入に入れられたら壊さずにいられねえ！」

喋りました。人形が。全部がオレに指さします。  
「それより、オレら取ってくれてあんがど」

なんか人形に感謝されました。

人形が言いました。  
「名前は？」

「桜田、ですけど」

くそおー！人形に敬語使つてしまつた。

「年齢は？」

「21ですけど」

なんか人形、オレのたばこ取つて吸つてます。  
たばこ20本入りで、オレが5本吸つて、残り15本だから、吸えない14体泣いてます。

人形が言いました。

「おい！なんで20本しか入つてないんだよーてめえ！」

いや、たばこを作つてる皆さんに言つてください。  
てゆーか、人形たち、たばこ食つてます。  
吸わいで食うんですね。たばこ。

この人形、大好物なんですね。たばこ。

「てめえ、ほこす！」

とか言われて人形に殴られました。  
もうでんてこまいですね。

人形。てか痛くないです。人形だから。あつでも針が出てた人形の  
パンチは最高に痛かつた。なんか人形たち。その人形を尊敬しながら、  
「パンチ最高じゃん！」

つて言いました。

いや武器持ってるし、それよりまず、ちゃんと作れよ。人形を作  
る皆さん。

「じゃ、事情聴取の続きをする」

ははは、人形に事情聴取されてます。オレ。しかも人形ですよ。  
また針が出てた人形に30回ぐらい殴られました。訳分からん  
ぐらい痛いです。

とりあえず仕事に行きました。

てかオレ、30も穴開いてるから仕事行くなよ。

即穴について聞かれました。

オレがふと窓に目をやると、人形が窓に引っ付いてました。キ  
モ。

「桜田！ てめえライブドアに働いてるのかよ！ ホリエモンに会  
わせてくれ！」

すんません。いますごい大変なんで、無理です。  
なんか人形たち、堀江ホールやってます。

出ません。

しかもミュージシャンじゃないからホールしても出ません。すんま  
せん。堀江さん。

社員の皆さんのが針が出てた人形に殴られました。

オレはもう泣いてます。

ははは。もうすぐで係長だつたのに解雇されました。

針が出てた人形に肩叩かれました。

痛いです。肩から血がでます。てか人から見ると、オレ、気味悪いですね。人形29体いるし。

「ふざけんな！おまえ等のせいでクビになつたんだー！ゲーセンに帰れ！くそ人形！」

いません。

なんか本当に消えたのかと思つて探してたら田の前のコンビニにいました。

ウキウキと買い物してました。7万払わされました。

ははは。だから誰も取らないのか。

こいつら、テレビに突きだそう。  
人形つて生きてるんですね。

## 名前決定（前書き）

これ、自分では自信作で必死に作っています。皆様、評価お願  
いします

## 名前決定

人形との生活が始まって2日経ちました。  
オレの体に60力所ぐらい穴があります。  
たまに仲間割れしてオレの高い時計を武器にしたりします。  
金がありません。

助けてください。

たまにリンチします。仲間どおしで。

なんか知らないけど100体くらい人形がいたりします。  
最初はさすがにビビりました。

次第に慣れる自分が怖いです。

助けてください！

時々自分も無理矢理混ぜられて鬼ごっこもします。捕まつたら  
殴られます。

まあこれでも楽しいときは楽しいですね。  
きれいに飾つてますが本当はうざいです。

次の日、

「俺たちに名前をつけてくれ！」

と土下座されました。

人形に名前なんま必要ないとと思うのはオレだけでしょうか。

とりあえず名前をなんにするか考えました。

全員ジャニーズのメンバーの名前にしようと考えました。

みんな亀梨和也がいいそうです。『ぐせんパワー』。

次はポケモンにしようかと思ったが、オレたちみたいなポケモンはいないと殴られました。

どこにもいないと思うのはオレだけでしょうか。

何回も考えて、何回も殴られたどり着いたのは、人形1から人形29になりました。

案外しょぼいですね。って言つたらキックされました。

次の日、仲間割れの戦争がされました。

部屋の中に戦闘機がたくさん飛んでます。銃連射します。怖いです。

なんか爆弾を準備してるので戦闘機壊しました。  
うわあ。戦闘機壊したの初めてだなあ。ふふふ。

次の日、オレは今思えば綿をさせば喋れないと思いました。  
夜、みんなが寝てるときに入形13を刺しました。  
綿、リアルな赤でした。きもいっす！

朝、13が泣いてました。すぐオレが犯人だとばれました。  
なんか人間と同じぐらいの体になつて、オレをぼこしました。  
その後、ベランダを乗り越えてどつかにきました。  
オレは普通にほつときました。

翌朝、賞味期限が今日の牛乳ときゅうりの対処にこまつてたら  
たくさん電話が来ました。

あの人形、東京23区と埼玉と栃木にそれぞれ1体ずつ保護さ  
れてました。今から引き取りにいきます。

ああ、千葉だったらディズニーランドに行けたのにな。  
まあいいや、ついでに観光でも行こうかなと思います。  
まずは世田谷です。

なかなか空気がきれいでした。人形3は逃げました。泣きながら。  
足立の人形12はイトーヨーカドーに行つてました。  
見つけて即持つて帰りました。

そのあと頑張つて全員連れて帰りました。  
なんとか人形3を5体の人形で押さえました。なぜ泣いてたの  
かな。

まず、人間の形になれるのですね、ここからはまったく。

翌朝、また逃げました。ははは。どうしよう。ここから。

新聞も持つて逃げてしまい。

ドラマを撮つたら延長して8回の表から撮れてました。楽天、勝ちました。

4時間後、人形のみんなが54万持つて帰つてきました。  
スロットで稼いだみたいです。

全部使うそうです。あれ、オレの金を使つたんだろ。おい。

毎日ポテチを5袋買つてます。

あいつら、たばこ好きなんじやないすか？大好物がわからん。

人形9がめちゃくちゃいじめられました。

目、針に刺されました。同情してる途中です。

「うわあん！みんなが、みんなが、うえええええん！」

「落ち着け、とりあえずあいつらに理由を聞こう。な、それでいいよな。な、！」

で、理由を聞きました。

「ここいつがオレをシカトしたんじやあうええええん」

あちゃー！泣いてました。

泣きました。みんな涙もろくてかわいいな。ふふふ。  
わあ、なんか慣れた。

食費が1日1万はちどきついが、まあ、いいや。ふふふ。

ははは、またたばこ食つてら。ははは。

そのころ、ニュースでFTOキヤツチャーの中に喋る人形  
がいるゲーセンがあるという事件を報道している。

ははは、口からなんか出した。

## 人形の能力（前書き）

今回はちと短いです。

## 人形の能力

最近の人形たち、やけに変です。

たばこはポッキーのように食うし、お茶漬けを海外生まれにしているし、エジプト行ってくると云つて金閣寺に行つたり、しかも周りにある池で泳いでました。そして、時々

「ラ」

と

「リ」

しか言わなくなつたし、訳わからなくなつて泣きそうです。

次の日、

「ラ、タイタニックみに行く」

とか言つてバレー ボールと納豆持つていこうとしました。  
オレは必死に止めました。

それはそうでしょう。

タイタニックは6年ぐらいやつてないし、納豆は臭いし、バレー ボールが活躍する場面は1%もない。ボップコーンをこぼす。

あと、映画だけで50万も必要ない。

毎日ポテチ買つてるのによく余るものだ。

人形たちにタイタニックはもう映画館では見れないと言つたら、「はあ！？」じゃのび太の恐竜は？」「

あれにはオレもへこみました。計算する気にもなりません。

こいつら、最近出来た人形なのに、映画は全然知りません。

お前等、今はあずみ2とか香港国際警察とか人気なんだぞ

「やうか！じゃそらみに行ひ。ラ、リ。」

と、バレー・ボールと納豆持つていきました。

あと50万。いや、だから、ね。

夜中になるとぐるぐるリビングを走ります。うざいです。  
たまに盆踊りをしながら爆音します。訳分かりません。  
翌朝、オレはニュースを見て「コーヒーを吐きました。

だって、あいつらの仲間、報道されてるもん。

「どうなったか見たい? 桜田」

オレはびびりました。

後ろを向いたら人形23が鼻をほじくってタイムマシンらしいものを  
を出しました。

「タイムマシンー!」

「おひ、お前、ドラえもんみたいなことできるんだ!」

「みんなできるよーー!」

ははは。お世話になつてるんだから出せよな。それくらい。  
しかもタイムマシンがきもい。ジャガイモ型です。

とりあえず乗つたら猫バスみたいにふかふか。

ふかふかなジャガイモ。うますぎ。

出発!…………三輪車より遅い!なんだこれ、ただいま2005

年6月。

5時間後、着きました。ゲームセンが潰れました。ははは。  
帰つてみると、人形たちが泣いてました。

なぜかと言うと、人形15の針が取れたそうです。真面目に泣いて  
ます。

オレはこの人形たちには大切なものがあると思います。仲間の  
幸せを喜べるから。

ある日、オレが仕事から帰ると、家が荒らされました。

泥棒か強盗です。

ついにオレにも来たか。

なんか知らないおじちゃんがうろつろしてるかと思ったら、やつぱり。

オレはとりあえず人形5心配をしました。

はい。全然いません。誰もいません。多分あのおじちゃん、人形狙いだったのね。

オレは外に出て、人形たち探しに行きました。

はい。居ました。人間の形になつておじちゃんを殴りかかっています。おじちゃんがごくせんの生徒のように見えます。ほら、いつも倒れて殴られてるじゃん。

なんか気がすんで人形が振り向いたらオレを見つけたらしく、走ってきます。人間の形のままで。

いや、せめて人形の形で、重いじゃん。

そんなこと人形の知つたこつたじゃない。突進してきました。

ぐはあ！痛いです。全身癪だらけです。

次の日、外科に行きました。あの癪ですからね。

もちろん、あいつらは連れていません。

入りました。はい。居ました。人形人間。小さい子供に飴あげてます。怖いです。

「オレにも医者やらせろ！」

とか言つてます。

ははは。乱暴だね。人形人間は。

他人のふりしました。やでしょ、あいつらと関係してるとか言われたら。

「おーす！桜田！」

人形人間が言つたが、無視しました。他人のふりです。

あれ。人形人間が人形になりました！およよ？大発見！人形、キモがられてます。

「おい！オレたちがキモいってか！」

はい。そうです。

なんか。どっかに連れてかれました。しかも他人の車で。

「なんだよー！離せ！くそ！」

人形たちが車を運転しています。

なんかみんなで

「ララララララララララララララ」

と言つてこいつちにきます。ぎゃあ！

なんかオレ、縛られています。しかも毛づく手が紫に変色します。

「いにつら、悪靈がいるんじゃないかとオレは思つ。

今もたばこは食つてます。悪靈がたばこが好きなのですかね。

「わうわうれるれりうつるるれれれ…！」

「わあー何語喋つてるのかしら。

「わうれりうるうるうるうるうるれらる…！」

なんか訴えてるのはわかる。うん。オレでもそのへりこわかる。

「うううううううううううううううううう…！」

それにしても何喋つてるのかしら。ね。 縛られて2時間たつてます。

この時間になると、近所ではみそ汁のにおいがするな。せうへつた。

人形がオレの前に何か置きました。

たばこです。なんか食えとこうジエスチャーをしてます。いや、食えるか。

人形がじつとオレを見てます。

また食えのジエスチャーをしています。食つまで離れないことです。

オレが食いたくないのジエスチャーをしたら、人形はじぱらぐオレを見て、なんかひらめいたかのように、手を叩きます。

その後、たばこを手に取つてオレに食わせます。

いや、そんな問題じゃないし、ポテチ5袋買つてんだからあらだら、ポテチ。

オレは食つてたまるかと思い、口を堅く閉じてたら、鼻をほじつてなんか出しました。

ねこじゅらじ。

ねこじゅらしをオレの脇の下にさわさわとくすくすくすぐつてえーでも開けてたまるか！

あきらめて次出しました。つつか早つ！

シャーク・ティルの前売り券。

「おお！見たかったんだ！ありがとう」

「はい。入れられました。たばこ」。

気づかずにおきました。茶色い葉っぱ、苦つ！…よく食えるな。  
なんか人形たち、最高の笑顔になつて舞つて  
ます。

100万ドルの笑顔でかわいいを通り越して気持ち悪いです。

「らり、らり、らり」

とか言つてます。

舞つてなくていいから教えて下さい。なぜ、オレは縛られてる  
のですか？

たばこをもう一本出されました。手拍子します。

アンコールなんでしょう、多分。

またなんか出しました。

ローレライのチケット。

食つてたまるか。

またなんか出しました。ぬおつ！これは！

踊る大捜査線のコーススケ・サンタマリアが主役の映画！

見てえ！でもたばこは食われるし、結局チケットはもらえなか  
つたし、もらわない方が。

でも、まだ2ヶ月もあるのにもつあるなんて、欲しい！すげー欲し  
い！

オレは悩んでます。

決まりました。

「ども（早口）」

「はい。入れられました。反射神経が最高にいいです。この熊。  
手がもう紫を越してやばい色になつてます。

「おい！なんで俺を縛るー？」

「うる」

と熊は言つてほんにやくこんにやくみたいなのを出した。

持つてゐんですね。ほんにやくこんにやく…。

とりあえずオレはそれを食つて、話を聞いた。

「まあ、聞いてくれや。オレたちには、悪靈が付いてる。桜田はそれに気が付いてるはずや。桜田はオレたちのせいに金がねーから、テレビに突き出されるかと思つて…、「めんなさい…」オレたちをテレビに突き出してくれ…！」

人形たちは拳を握りしめてました。

「まあ、もう慣れだし、いいよ」

「まじで…？」

人間形態になりました。いや、なんで？

はい、突進。

めちゃくちゃ痛いっすよ。もつ。

とりあえず、帰りました。

## テレビ出演？その1

人形たちは今、すゞくハマつてるものがあります。  
それは、教育番組。

見逃すと真面目に泣きます。

「オレたちも体操のお兄ちゃんと踊りてえ！…」

人形が何言つてるのでしょうか。

「無理に決まってるだろう！…おまえたちは人形だし、第一テレビ局はどこにあるのかわかるのか！？」

人形たちが最高の笑顔で爆宙をしてます。なぜ爆宙が出来るのでしょうか。

また体操のお兄ちゃんが出てきました。

「コンサーントみたいに盛り上がつてます。なんか、

「かつけえ！…あんたかつけえよ！！」

とか言つてます。

今思つたのですが、こいつら、今何歳なのでしょうか？聞いてみました。

「オレの年齢は、ピリオドよりも年上だい！…」

「はい、何言つてるのかわかりません。ピリオドって何歳なのでしょうか。

気がついたら、人形たち何かに応募してました。

「オレらも踊るんだああああああ…！…！」

だから人形なんですってば！…もうあいつら何者なんでしょうか。

だから何に応募してるんだろう。

葉書を覗いたら、人間形態になつてクラッカーの穴にオレの鼻を入れて、発射しました。

オレの鼻からビラビラするやつが5本ぐらいと、煙が出来ました。

四角いのは知りません。

もう一回覗いたら兄ちゃんとダンスを踊りてとか書いてありました。年齢はピリオドより1歳上。

だからピリオドは何歳なんだよ！－

「うわあ！－うしし笑いだ！－人間になれる人形がうしし笑い」

怖いもんです。

人形1-1がポストに行きます。

人形1-1は人形の中で唯一タラちゃんの足音と同じなんです。  
でか人形です！－騒ぎます！－ドラえもんは歩いてても誰も驚きませんが、こいつは驚きます。

「大丈夫！－オレが出していくる！－」

「おう！－悪いな！－」

人形たちはタメ語で対応してます。このちはいわば「主人ですね。

葉書を見たら宛先が書いてません。

「おい！－これは送り返してくれるよ！－出しても無駄！－だいたいこの葉書、オレがプラズマテレビの懸賞のために買ったのに何してんだよ！－もう！－」

オレは正面目にキレました。ちょっと気分がいい。

人形は鼻をほじくつてなんか出しました。多分ケータイみたいなものです。

「もしもし、ダンスする人に応募します」

「ええ！－これでいいの！？ええ！－」

「よつしゃ！－受かつた！－」

オーディションは！？マジかよ！？

「おまえ、雑用兼保護者な。東京いけるんだぜ！－いいだろ！－」

「いえ、ここは東京です。第一、人形に保護者は必要なのでしょうか。

まあとりあえず明日に備えて早く寝るか。

翌日、人形たちは午前2時ぐらいに起きていたそうです。

出発は9時なのに。隣町のスタジオなのに。

電車に乗つてオレはそのまま寝てました。

「どうしたの」  
そして、オレが起きてみると人形たちがボロボロ涙を流してました。

とオレが聞くと、人形、とんでもない事を言うんです。

今 埼玉に しるの 埼玉 空氣が 起れしたよね

ええ!! 埼玉!? あかぎちゃんすれはーのでじょうか。

ビリを行つても困んぼしかないな！－くそ！－

人形はハイキンク気分で歩してました。一 番焦る必要があるのは  
はいいつらなのに。

だよな。そういえば。

「おしゃー、おまえは、エラえもんと画じ能力があるんだから」と、アリシアがだせるんじゃないかな?」

■ ■ ■

元

人形ははしゃいでます。

関西弁になるぐらいハガ  
ほんまはかたよ。  
忘れてたんでしょ？  
だよ。

「ワインブルドン！タケコプター！」

え

具違いますよーー！ワインブルドンって何ーー？

しかも二個しかありません。

人形たち、鼻水垂らしながらどこでもドアを出しました。開けて入つたら3歩前の所に着いて壊れました。人形たちは鼻

水を垂らしてました。

## テレビ出演？その2

どこでもドアが壊れてしまつたため、おれらは歩いて東京へ。か埼玉なのにこんなド田舎あるんだ。へえ…。

「見て！…ゲーセン…！」

はあ？何故こんな所にあるんだい。てかすげーうるさいし。人形たちはギャー・ギャー言いながら、ゲーセンの中に入つていつた。

俺も人形を追うようにゲーセンの中に入つていつた。

人がたくさんいました。

うん。とにかくたくさんいました。太鼓の達人で列ができてました。

「うつしゃあああああ…遊ぶぜ、アルデンヌ」

そういうて、人形14はドラムのゲームをやり始めた。なんかメンバーズカードを入れてた。

どこで手に入れたのかな？ふふふ……。

「よしつ…！…いくぞお…！」

わざわざ大声出さなくていいのにと俺は思った。

てか今思つたけどおかしくないか？こんな田んぼと軽トラしか無い村に客が多いゲーセンがあると思うのか？

俺は狐につつまれたかのようにゲーセンを見渡した。

係員が…いない。

係員がいないゲーセンなんてとんでもなくおかしい。

動いてる人形を見て騒がないやつがいるか？

俺は怪しくなつて人形たちを呼んだ。

だが、ドラムのゲームにすこく集中していた。てか…うますぎる。

「はあ…、楽しかった」

人形たちと共にゲーセンへ出た。

拝啓、皆さん。このゲーセン、普通のゲーセンでした。

俺は泣きそうになりながらゲーセンを後にした。

「なあ、バスを待とうぜ」

俺はバス停を見つけ、指を差しながら言った。

「うつせーー！ボケ人間」

「うわあ……、人形に暴言された。すげーショック。

「じゃあさ、バス待とうぜ」

人形09がバス停を指指しながら言った。

だからさつき俺が言つたってーの。俺が思ったが、人形は

「行こうぜ」

と賛成した。

よい子のみんな。これをさべつといつものなんだよ。よく覚えてね。

とりあえず俺達はバスを待つ事にした。

だが、一向に来なくて、全員イライラしあ始めた。

「くそおおお！！いつ来るんだよ！？」

人形21がバス停にパンチをして、バス停にある看板みたいなのが倒れた。あーあ。

その時、人形21は気づいた。

「なあ……みんな……」

人形21が震えながら言った。

「どーした？人形12」

俺はバス停にある看板みたいなの所まで走った。

「時刻表……」

人形21が指を震えさせながら時刻表を指したので、俺はそれをみた。

「……もう、バスが無い……」

そう、あの時ゲーセンで遊んでる間に最終バスが出発してしまったのだ。

「あーあ、おめえらのせいだ！！あーあ！！！」

「うつせえよ、ライブドアクビになつたくせに」

「うるせー、それもおめえらのせいだろうが！！！」

「お前がJFOCキャッチャーで俺たちを取つたからだ！」

「ジャンプしたんだろ！－－ジャンプしたんだろ！－－」

「ああああー！－－もつおまえらとは絶交だ！－－」

「てか俺は最初からそれを望んでましたあー」

「あつそ、あつそじやあな」

人形達はぞろぞろと俺達から離れていった。

「バカラしい、家帰ろう」

俺は歩こうとしたが、道に迷つてたんだ。

「おいおでーら、何してるべか？」

前の畠で農業をしていた50代後半のおじさんが俺に話しかけた。

「駅を探してるんですが、知りませんか？」

「ああ、反対方向だ。おらが連れでつか？」

「お願いします」

な、な、なんとこんな所に神様が、ありがたい。アーメン。

とりあえず俺はおじさんの軽トラに乗つて駅まで送つてもらつた。

「この村はなあ、野球が延長しないからビデオが録画しやすいんだ」

「そうなんですか？」

みたいな会話をしていた。

駅に着いておじさんに軽くお礼を言つて俺は自分の部屋へと帰つていつた。

久しぶりに我が家へ帰つてきた。

なんかリフォームされてもいのに部屋がいつもより広く見えた。

今ごろ人形達何してるんだろう。俺はそう思いながら貯まつた新聞とハガキを見た。

ハガキは群馬の実家からだつた。

まあ前橋だから職には困らないから東京に行つたのは俺とギャル一人と巨人入団希望のやつだけだった。

ハガキの内容は俺の妹、有希が結婚式を上げるから来て欲しいらしい。

ついに妹に先を越されたか…。

俺は寝こりんだ。

明日帰るか。

俺はそう思いながら寝たのであつた…。

翌朝、俺がテレビを付けたら、懐かしい教育番組がやつてて、懐かしいなと思いながら見てた。

その後、俺はとてつもない光景を見るに…。

「それじゃあ今日からみんなと遊ぶ仲間の紹介をします」歌のお兄さんが話した後、それは映つた。

「どーも、クマオ29です」

あいつらだ。

行けたんだ。

NHK。それにしてもNHKはやるな。普通、あんなの見せたら即マスコットキャラクターにするよ。

それにしてもクマオ29って…。リープ21じゃないんだから…。はつきりといって一緒に歌つてる子供と人数あんま変わらないし…。俺は即テレビを消してすぐ準備をして田舎へと出発したのだった。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n0954a/>

---

生きてました

2010年10月15日20時45分発行